Special 特集 Feature

老健施設の これからの災害対策の あり方とは

「施設で備える」から「地域を支える」へ

地震や台風、豪雨、またそれらによる土砂災害など自然災害による被害が全国各地で頻発する昨今、老健施設の災害対策について改めて考えたい。災害時は職員自身も被災者となる上、要配慮者が利用する老健施設は、自施設の力だけで乗り切ることは難しいといえる。そこで、実践的な災害対策と災害時の地域連携の重要性について、徳島大学の金井純子准教授に聞いた。また地域と一体的に防災の取り組みを行う老健施設「かがやき苑」を取材した。

これからの老健施設のBCPは 実効性と地域との共有がかぎに

金井 純子さん
徳島大学理工学部社会基盤デザインコース 准教授

施設を守る備えから、 地域を支える備えへ 平時のつながりがつくる防災イノベーション

介護老人保健施設かがやき苑(広島県)